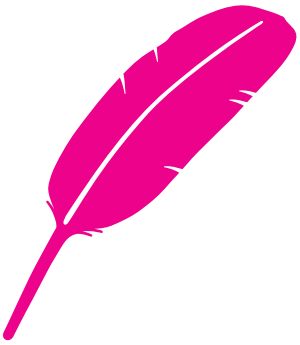
しほろ社協だより

ふくしの心

令和8年11月
110号

赤い羽根共同募金スタート！



八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

安心・安全・福祉のまちづくり

発行：社会福祉法人 士幌町社会福祉協議会
〒080-1219 士幌町字士幌西2線167
TEL（01564）5-2008 FAX（01564）9-5090

この社協だよりは、共同募金(配分金)の一部を充当して作成しています。

赤い羽根
共同募金
10月1日▶12月31日

令和8年度 赤い羽根共同募金



10月1日から全国一斉に募金運動が始まりました。皆様のご協力をお願いいたします。



募金の方法と種類

－赤い羽根共同募金－
10月1日～12月31日

日本で共同募金のシンボルであります「赤い羽根」を使うようになったのは、昭和23年の第２回目からです。当時、アメリカでも水鳥の羽根を赤く染めて使っていたことから、それにヒントを得て不要になった鶏の羽根を使うようになりました。「赤い羽根」は、寄付をしたことを表す「共同募金」のシンボルとして、幅広く使われています。今年も皆様のご協力をお願いします。なお、募金の方法は主に次の２つです。

一般募金

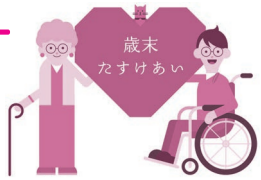
10月から、一戸あたり３００円を目安に各駐在員に取りまとめをお願いしている募金です。

特別募金

11月から各地区の募金委員の協力を得ながら取り組む募金です。農村部や法人は従来通りの方法で行いますが、市街地は、封筒募金により実施いたします。なお、封筒募金の方法は次の通りです。

① 11月に入りましたら市街地の全戸に募金封筒を配布いたします。
② 募金に協力いただける方は、募金委員が訪問された際に封筒にお金を入れてお渡しください。（都合により募金委員が訪問されない場合は、各駐在区の募金委員までお届けください。）
※ 500円以上の募金をしていただいた方は、明年発行の社協だよりで紹介させていただきます。なお、匿名を希望される場合は、募金の際にお申出ください。

－歳末たすけあい募金－
12月1日～12月31日



「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもとに、様々な福祉活動に役立てられます。

税金の控除を受けられます

期間中にいただいた募金につきましては、所得税と住民税より一定の基準において控除を受けることができます。法人については全額損金算入ができます。個人の方については以下の通りです。

○所得税
寄付金額（年間所得の 40% を限度とする額）
－２千円

○住民税
{寄付金額（年間所得の 30% を限度とする額）
－２千円} ×10 ／ 100

寄付金付バッジ取扱中!

現在、士幌町共同募金委員会事務局では募金バッチ（北海道限定エゾユキウサギ・毛ガニ）を500円の募金につき1つ差し上げております。制作費を除いた金額が共同募金に寄付されます。数には限りがありますのでお早めに！事務所（福祉センター）・みんなのもりのくまさんで取り扱いしています。

北海道限定2種

【エゾユキウサギ】



【毛ガニ】



募金委員が決まりました

今年度の募金委員は下記の通りです。
募金委員が訪問した際には是非ご協力をお願いします。

（敬称略）

	担当地区	氏名
北町	高徳	富澤敏
	若葉	瀬戸哲夫
	若葉第一	水上良明
	若葉東	瀬戸秀樹
	新生	波多野義弘
中町	仲通	北出淳一
	本通	平井恵美子
	神苑	栩内信浩
	互譲	松岡豊蔵
	中央	吉川智紀
	大通	長谷川勇輔
	大通西	河田玲志
南町	睦	——
	睦西	小畑日出雄
	睦南	小畑直人
	美園	島田尚一
	南団地	香川梨乃
	緑光	工藤貴光
	柏葉	齋藤祥貴
	みどり	——

	担当地区	氏名
西町	平原	神野光男
	平原第一	牛渡ひろみ
	いこい	猪狩賢明
	松並	遠藤弘隆
中士幌	中新南	和田鶴三
	中南	瀬口豊子
	中西	石川髙広
	中北	——
	中北団地	横井さち子
	中東団地	吉田静二
	明生	舘英樹
	共進	中波俊一
	勝和	藤田由美子
	中士幌・文化	小林利将
士幌北	百戸1班	鎌田尚吾
	百戸2班	星屋富士雄
	平和	服部大暉
	北1区（1班）	山口昌也
	北1区（2班）	藤内正樹
	北1区（3班）	赤間博之
士幌南	西士幌・常盤・実勝	加納俊美
	南旭区	出村祥伍
	南1区	足立茂

	担当地区	氏名
佐倉	佐倉北区1班	梅本晴紀
	佐倉北区2班	山田洋輔
	佐倉北区3班	大友慎一
	佐倉南区1班	和田智志
	佐倉南区2班	北出淳人
	佐倉南区3班	鈴木学
上居辺	西居辺・開運・北開	佐藤和巳
	松室	河村容敬
	西居辺	早坂直浩
	北上	大野晃康
	共成・柏・柏野	堀田隆一
下居辺	友愛	田辺豊
	高砂・下一	二川寿幸
	下二	吉田久
	清澄	神屋信勇
	朝陽	瀬口隆宏
北中	吉野	鎌田秀治
	中音更	古田全利
	共益	原暢之
新田	新栄	瀬戸善生
	栄進・コマクサ	鈴木博文
	新田第二・第一	瀬戸新一
西上	西上	東井尚輝
		長谷川龍太
		吉田祐樹

町民の皆様へ

北海道共同募金会における使途不明金の発生について

このたび、北海道共同募金会において使途不明金が発生し、共同募金運動に対する町民の皆様の信頼を損なう事態となりましたことを、士幌町共同募金委員会としても大変重く受け止めております。

町民の皆様からお寄せいただいた募金は、地域福祉の推進を支える大切な善意であり、その管理・運用には高い透明性と適正性が求められます。

士幌町共同募金委員会におきましては、募金の受入れから送金、決算に至るまで、複数人による確認や関係規程に基づく会計処理を行っており、これまで適正な会計管理を実施しております。また、毎年度監査を受けるなど、会計処理の適正性の確保に努めており、募金活動終了後には、社協だより内で募金結果を公表させていただいております。

今回の件を受け、改めて会計処理及び内部管理体制の確認を行い、適正に運営されていることを確認しております。今後も町民の皆様からお預かりする募金を適切に管理し、信頼される共同募金運動の推進に努めてまいります。

また、今年度、本来助成される予定であった総額1,953,025円につきましては、北海道共同募金会より一次助成金として976,513円を受領しております。残額の976,512円につきましても、中央共同募金会による緊急支援助成を受けられる見込みとなり、各団体への配分が可能となる見通しです。

町民の皆様にはご心配をおかけいたしますが、引き続き共同募金運動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和８年11月１日
士幌町共同募金委員会
会　長　佐藤　弘夫

士幌町社会福祉協議会への皆様のご寄付をお願いします
さまざまな福祉の充実に幅広く活用させていただきます

本会では、皆さまの善意によって、幅広い福祉活動に取組んでおり、お寄せいただいた寄付金は身近な地域福祉事業に役立てられております。暮らしやすいまちづくりのために、是非ご協力をお願いします。なお、２，００１円以上のご寄付は、所得税及び住民税控除の対象となります。ご協力いただける方は、総合福祉センター内　士幌町社会福祉協議会へ。この制度による控除を受けようとする場合には、役場で確定申告を行う必要があります。

『ちいきふれあいひろば』とは、地域住民が一同に会し【遊び・学び・ふれあい】を通して人と人とのつながりや誰もが安心して生活できる町づくりを目的に開催します。



●体験・展示コーナー
（10:00～12:30）
※体験には「ふれあいキップ」（５枚つづり150円）が必要です。【当日会場で販売】

●飲食コーナー
（11:00～12:30）

この事業は、一部共同募金の助成を受けています

あそび・まなび・ふれあい

ちいき ふれあい ひろば2026

11/21(土)

会場：総合研修センター

●ふれあい動物園
（11:00～）

●ミュージックケア
（12:45～）

●ビンゴ大会
（13:30～）



【お問い合わせ】士幌町社会福祉協議会　☎01564-5-2008



補聴器相談会

～専門家による無料相談会～

これから補聴器の使用を検討している方や、最近聞こえにくさが気になってきた方など、どなたでもご利用いただけます。また、すでに補聴器を使用している方の点検や電池交換等でもご利用いただけます。

◆日　時　11月17日（火）10:00～15:00
※予約不可・随時受付
◆場　所　総合福祉センター　研修室
◆ご協力　時計台補聴器センター木野店様
◆主　催　身体障害者福祉協会士幌町分会
（事務局：士幌町社会福祉協議会内）
◆問合先　☎01564-5-2008　FAX 01564-9-5090

日常生活支援「たすけ愛」サポーター募集

「たすけ愛」（日常生活上の困りごとを支援するしくみ）事業の協力会員（たすけ愛サポーター）を募集しています。主に高齢者や障がいのある方に対し、ちょっとしたお手伝いをする活動です。資格や年齢は不問です。まずはお気軽にご連絡ください。

■活動日時　月曜日～金曜日（祝祭日除く）
※ご希望日時で調整します。
活動時間は30分～１時間程度です。
■活動内容　簡単な掃除・ゴミ出し・買物同行など
■活動方法　活動後利用者から「たすけ愛チケット」を受け取り、３月末に精算します。
（チケット２枚毎に商品券500円分と交換）
■問合せ先　士幌町社会福祉協議会　☎5-2008

認知症啓発イベント「RUN伴北海道2026」参加報告

～認知症になっても安心して暮らせる士幌町を目指して町内を走り（歩き）ました!～

「RUN伴（ランとも）」は、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症の人もそうでない人もみんなでタスキを繋ぎゴールを目指す、日本全国で行われるプロジェクトです。士幌町では趣旨に賛同した髙木町長をはじめ、医療・介護・福祉関係者のほか、地域の方も含め合計31名が参加し、認知症啓発カラー・オレンジ色のＴシャツを着て全員で走行しました。



スタート地の特別養護老人ホームでは入居者の皆さんの声援を受け出発。経由地の「ケアハウスしほろ愛風苑」や「グループホームひまわり・えがお」でも入居者の方々の応援を受け、ゴールのみんなのもりのくまさんまで全員で走り（歩き）きり、隣町の音更町へとタスキをつなぎました。



しほろ社協だより　編集・発行　社会福祉法人士幌町社会福祉協議会
〒〇八〇－一二一九　士幌町字士幌西二線一六七番地　電話〇一五六四－五－二〇〇八
印　刷　㈱アド・プリント